

15) フィリピン国内の歯科医療状況

○竹内 操, 鈴木 亨

(奥羽大・歯・歯科補綴)

(はじめに) フィリピンでの歯科治療はアメリカ型のものが導入され、その水準は低くなく、日本と同水準かあるいはそれ以上とも言われるが、国内の経済格差が大きく十分な歯科医療が国民全体に供給されているとはいえない状況にある。

演者らは昨年、ボランティアの歯科医療奉仕団に同行し、フィリピン国内の歯科医療状況について調査する機会を得たので報告する。

(調査方法) 調査地はフィリピンの首都マニラから北へ約120キロにあるターラック州ターラック市である。ターラック市は人口は約26万で、純農村地帯にある。

市中心部の歯科医院を訪問し、内部を見学すると共に、歯科医療状況について尋ねた。また、同行した歯科医療奉仕団の予診医に依頼してフリー・デンタルミッション受診者の口腔内状況を調査した。

(結果) フィリピンの地方開業医によると、フィリピンでは歯科医院は、需要に対しては過剰であるが、多くの国民は経済的理由により歯科医院を受診できない状態にあるとのことであった。

フリー・デンタルミッション受診者、すなわち通常は歯科医療の恩恵を享受できない人々の口腔内は、臼歯部に齲蝕が多く認められる傾向にあり、歯周病罹患歯は比較的少なかった。日本人に比べると齲蝕、歯周病ともに重症例は少なかった。

(考察) フィリピンでは十分な歯科医療が国民全体に供給されているとはいえない状況にあるが、その原因の一つは、国民間の経済格差であるため、これを改善するには国内の経済格差の是正、国全体としての経済発展を支援することが大切であると思われる。

また、フィリピンでは、経済的理由により歯科医院を受診できない人々が多いが、食生活の為か歯周病は日本人に比べると少なく、日本人の歯周病予防の参考となるのではないかと考えられる。